

下肢静脈瘤外来

日帰り手術も可能です

治療の流れ

1 初診(水曜日・AM)

外来診察を受けていただき、診察・超音波検査にて診断します。
治療適応があり、治療希望の患者さんは手術前検査(採血・レントゲン・心電図など)を受けていただき、手術の説明をさせていただきます。

2 手術当日(火曜日)

午前に入院していただき、午後からの手術になります。手術後は院内を自由に行動していただけます。

3 手術翌日

午前中に超音波検査を受けていただき、問題がなければ退院となります。

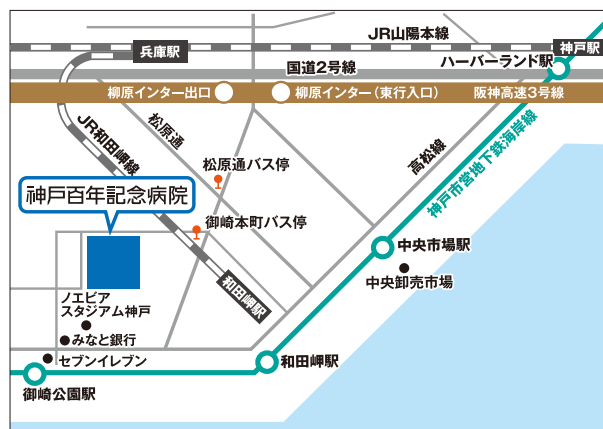
4 退院後

手術翌日はシャワー、手術翌々日から入浴していただけます。
日常生活は手術前と同じように過ごしていただけますが、長時間の立ち仕事や肉体的労働は退院後2~3日間は避けていただくことをお勧めしています。手術後1ヶ月・3ヶ月に外来診察と超音波検査があります。

日帰り手術をご希望の方へ

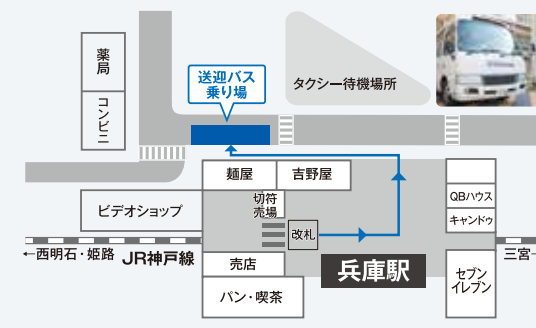
日帰り手術をご希望の患者さんは、手術予定時刻前に来院していただき、手術後、歩いて帰宅していただけます。
手術翌日の午前中に、合併症が起こっていないか確認するために外来受診と超音波検査を受けていただく必要があります。

交通のご案内



- ▶ 最寄駅
・市営地下鉄海岸線「御崎公園駅」徒歩7分
- ▶ JR兵庫駅よりお越しの場合
・送迎バス 山側出口西側30分毎に運行
- ▶ JR神戸駅・高速神戸駅よりお越しの場合
・タクシー(約10分)・市営地下鉄海岸線乗車 御崎公園駅下車 徒歩7分
- ▶ 新長田駅(市営地下鉄・JR)よりお越しの場合
・タクシー(約10分)・市営地下鉄海岸線乗車 御崎公園駅下車 徒歩7分

■ JR兵庫駅 送迎バス乗り場



お問い合わせ

☎ 078-681-6111

医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1
<http://www.kobe-century-mh.or.jp>



201907

医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

当院は、診断から治療まで、一貫した診療を行っています。
症状改善し、美容的にも最適な治療法を提供しています。

下肢静脈瘤の症状とは？

- ・足の血管がふくらんでいる(静脈瘤)
- ・足がつる(こむら返り)
- ・足がむくむ(下肢浮腫)
- ・足のだるさ(倦怠感)や違和感
- ・足の痒み
- ・皮ふに色がついてきている(色素沈着)
- ・皮ふが硬くなってきた(皮膚硬化)
- ・足に床ずれのような傷がある(皮膚潰瘍)

下肢静脈瘤の治療について

以前は静脈剥去術(ストリッピング)が行われることが多かったですが、2011年1月から保険診療で下肢静脈瘤血管内焼灼術(レーザー治療)を行うことができるようになりました。

切開を行うことなく、針を刺す程度の傷で治療することができ、傷が目立たないだけでなく手術後の痛みや出血の軽減もされます。局所麻酔のみで施行できるため、日帰り手術も安全に行うことができますようになりました。

当院では、レーザー治療はもちろん、切開を伴う治療・硬化療法など下肢静脈瘤治療のすべての治療を行っております。

- ・保存療法(圧迫療法)
- ・硬化療法
- ・高位結紮手術
- ・ストリッピング手術(静脈剥去手術)
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術(2011年1月保険収載)

下肢静脈瘤血管内焼灼術(レーザー治療)

■ 治療方法について

悪くなっている静脈(逆流している静脈)の中にレーザーファイバーを通して、静脈の内側からレーザーの熱で血管を焼くことによって血液が流れないようにする(逆流がなくなる)治療法です。従来のストリッピング手術(剥去術)は血管を取ることで血液が流れなくなる手術ですが、レーザー治療は血管を塞ぐ事で流れなくする治療です。

■ 当院で手術を行う利点

従来のストリッピング手術では、足の付け根とひざ付近の2箇所を切開が必要でしたが、レーザー治療は 針を刺すだけ で治療できるため、手術後の傷も目立ちません。また、レーザー治療は血管を切除せず、内側から血管を塞ぐだけなので、ストリッピング手術と比べ、出血や手術後の痛みが少なくなります。(レーザー治療もストリッピング手術も)手術成績は同等です。

局所麻酔で治療できるので、手術直後から歩行可能です。通常の家庭内での行動程度であれば、手術直後から普通に行動していただけます。

末梢血管を専門に診療してきたDr.が診療を行います。

外来 | 水曜 AM

手術 | 火曜 PM

Dr.Profile

黒瀬 公啓
Kurose Kimihiro



専門分野 | 末梢血管外科(下肢静脈瘤)
認定資格 | 外科学会専門医
心臓血管外科専門医
脈管学会専門医
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医
日本血管外科学会認定血管内治療医
胸部ステントグラフト実施医
腹部ステントグラフト指導医
浅大腿動脈ステントグラフト実施医

よくあるご質問

Q 焼いた血管はどうなりますか？

A 焼いて流れなくなった血管は、4～6ヶ月ほどかけて体に吸収され、なくなってしまいます。

Q 静脈を塞いでも大丈夫ですか？

A 足の静脈血のほとんどは筋肉の中を走行する深部静脈を通して心臓に戻ります。塞ぐ静脈は体の表面を走行する逆流している静脈であり、足にとって悪さをしている静脈です。無くなったほうが足への負担を減らすことができます。

Q 痛くないですか？

A 局所麻酔をする時に痛みがありますが、それ以外は痛みを伴うことはありません。局所麻酔は5～6箇所程度です。

Q 手術時間は？

A 治療する血管の長さや蛇行の有無で変わってきます。大伏在静脈は20分前後、小伏在静脈は10分前後です。

Q 手術の危険性がありますか？

A 最も心配する合併症はEHIT(Endvenous heat-induced thrombs)。EHITとは伏在静脈と深部静脈の合流部に血栓を作ることです。血栓が進展することで深部静脈血栓症や肺塞栓症発症することがありますが、頻度は0.05%と低いです。その他の危険性としては薬剤アレルギー、知覚神経障害や内出血などです。

Q 再発は起こりますか？

A 長期間たつと再発することはあります。治療後早期に再発することは稀であり、一般的に5～10年ほど経過し再発してくる例があります。一度治療した血管が再開通することはほぼゼロであり、別の血管が原因となることがほとんどです。

Q 再発例に対する治療

A 再発した原因により治療方法が変わってきます。

生命保険の加入内容により、手術給付金の支給対象になる場合があります。詳しくはご加入の保険会社にご確認ください。